# （様式1）

**日本医療研究開発機構　先端国際共同研究推進プログラム（ASPIRE）**

**研究開発提案書**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究開発課題名  （英語表記） | | ○○に関する研究開発  Study of ○○ | | | |
| 公募名（プログラム名） | | 医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業 先端国際共同研究推進プログラム（ASPIRE) | | | |
| 研究課題領域  ※関連が強い順に１，２，３と記載してください。 | | ①「世界最高水準の医療の提供に資する細胞構造・ダイナミクス研究」領域 | | |  |
| ②「世界最高水準の医療の提供に資する細胞・臓器・個体間相互作用研究」領域 | | |  |
| ③「世界最高水準の医療の提供に資するライフステージ研究」領域 | | |  |
| タイプ | | Aタイプ・Bタイプ（該当しない方を削除） | | | |
| 研究開発期間 | | 令和XX年 X月 X日 ～ 令和 XX年 X月XX日（X年間） | | | |
| ヒト全ゲノムシークエンス解析 | | □実施する □実施しない  ※いずれかに☑。実施する場合、ヒト全ゲノムシークエンス解析プロトコール様式を提出。 | | | |
| 研究開発代表者 | 氏名 | （フリガナ）○○○○　○○○○ | | | |
| （漢字、ローマ字表記）○○　○○ Yyyy Yyyyyy | | | |
| 年齢 | 才　（令和5年4月1日時点） | | | |
| 研究者番号 | 12345678 | | | |
| 所属機関  （正式名称） | ○○法人○○大学 | | | |
| 住所 | 〒XXX-XXXX ○○県○○市○○町・・・・ | | | |
| 電話番号 | XX-XXXX-XXXX | | | |
| E-mail | YYY@YY.jp | | | |
| 所属部署（部局） | ○○学部○○学科 | | | |
| 役職 | ○○ | | | |
| 経理事務担当者氏名 | ○○　○○ | 経理担当部署（部局）・連絡先等 | ○○大学管理部○○課  電話番号：XX-XXXX-XXXX  E-mailアドレス：YYY@YY.jp | |

注 提出する際には、青文字の記載例および緑色の吹き出しを削除してください。

# １．実施体制

※この項目では、以下の観点から審査を行います。

〇実施体制（研究の目的や成果の創出を見据えたチーム構成になっているか/研究参加者の多様性への考慮がなされているか）

## （１）日本側チームの研究者　(Researchers in Japanese Team)

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 役割 | 氏名 | 機関名および部署名 | 役職 | 学位 | 専門分野 |
| 研究開発代表者 |  |  |  |  |  |
| 研究参加者 |  |  |  |  |  |
| 研究参加者 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 研究開発分担者 |  |  |  |  |  |
| 研究参加者 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

※研究開発分担者：日本側研究参加メンバーのうち、日本国内の大学や研究機関等に所属している研究者で、研究開発代表者と異なる機関に所属し、自身の所属機関において委託研究費を受領し執行する研究者、または研究開発代表者と同じ機関に所属し、分担研究開発項目の代表として研究を進める予定の研究者が該当。

※必要に応じて、行を増やしてください。

## （２）相手国側チームの研究者　(Researchers in Counterpart Team)

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **Role** | **Name** | **Organization, Department** | **Title** | **Academic Degree** | **Area of Expertise** |
| Principal Investigator |  |  |  |  |  |
| （Researchers） |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

※本国際共同研究で研究開発を実施する研究開発代表者（Co-PI）を含む相手国側研究者および人材交流の対象となる相手国側研究者を記載。

注意：

・AMEDは相手国側研究機関と委託研究開発契約は結びません。

・国内研究機関から相手国側研究機関へ再委託することは妨げてはおりませんが、再委託の場合であっても、再委託先においては機関経理を行うことを原則とし、さらにAMEDの求めに応じて国による検査やAMEDによる監査等に応じることを条件とします。※再委託については、公募要領の８章の記載事項をご確認ください。

・相手国側研究者の日本への渡航費用や交流費および日本国内で実施する研究はAMEDの委託研究開発費の対象です。

・原則、相手国側チームが相手国内で実施する研究活動費はAMEDの委託研究開発費の対象外です。

## （３）相手国側研究代表者（Counterpart-based Principal Investigator）

※事前申請書類のコピーでも差し支えありませんが、変更がある場合は情報を更新してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| Country | Australia・Canada・ France・Germany・Switzerland・UK・USA  ※ Delete countries that do not apply, or if none of the above apply, delete all and list the country name. | | |
| First Name,  Middle Name |  | Last Name |  |
| Age | （As of April 1st, 2023） | | |
| Title/Department  /Organization | (English) | | |
| Address of the organization | (English) | | |
| Phone number | ※Please include country code | | |
| E-mail |  | | |
| Title of funded research project | (English) | | |
| Name of the funding agency for the research project | Name of funding agency for the project | | |
| Award Number | Award No. or application No. | | |
| Research funding period | YYYY/MM/DD　～　YYYY/MM/DD | | |
| Expected date of application approval※ | YYYY/MM | | |
| Research budget for the project |  | | |
| Research Abstract | Please provide an abstract of the research for which you have funded or are applying for new fund from the above FA (500 words). | | |

※If the research project is in review process and funding decision has not being made yet.

# ３．研究業績

※この項目では、以下の観点から審査を行います。

○実施体制（研究開発代表者および相手国研究開発代表者は国際トップサークルにおける研究実績、トップ研究コミュニティにおける交流実績、若手研究者等の人材育成実績を有しているか。）

（**１）日本側研究代表者：経歴・研究業績（日本語）**

|  |
| --- |
| 〇研究者情報 |
| URL：  ※ORCID及びresearchmapの日本側研究代表者ページのリンクを貼り付けてください。  （ORCID IDまたはresearchmapをお持ちでない場合は、例えば、Publons、Google Scholarの研究者情報ページのリンクを貼り付けてください）。 |
| 経歴  ※経歴  （教育・研究、所属学会等の情報含む）を記載してください。 |
| 〇研究業績 |
| （１）研究実績概要  ※本項目では、本事業で支援を受けるに値するトップの研究者として該当分野において研究開発代表者がどのような実績を残してきたか、アピールするポイントを含めて研究における実績を簡潔に記述してください。 |
| （２）主要責任著者論文（10件以内）  ※研究開発代表者の優れた研究実績の裏付けとなる、責任著者として発表した論文及びそれぞれのSCOPUS引用回数を記述してください。記述にあたっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください（論文名、著者名、掲載誌名、国際会議名、巻号、発表年、書誌情報等）。  ※本提案に関連する論文3件に関しては、必要に応じて発表した論文にて明らかにしたことや研究提案者の貢献などアピールするポイントを簡潔に記載してください。 |
| （３）Top10%国際共著論文（10件以内）  ※研究開発代表者によるTop10%国際共著論文を記載してください。記述にあたっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください（論文名、著者名、掲載誌名、国際会議名、巻号、発表年）。使用するデータベースやTop 10％の定義方法、Top10％論文であることを認識できるエビデンスを明示してください。  ※本提案に関連する論文3件に関しては、必要に応じて発表した論文にて明らかにしたことを研究提案者の貢献などアピールするポイントを簡潔に記載してください。 |
| （４）過去10年間の国際会議における基調講演・キーノート講演（10件以内）  ※研究開発代表者による過去10年間における主要な国際会議における基調講演・キーノート講演を記述してください。記述にあたっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載してください（国際会議名、開催場所、日付等）。  ※本提案に関連する国際会議3件に関しては、必要に応じて研究提案者の貢献などアピールするポイントを簡潔に記載してください。 |
| （５）その他研究実績  ※学術的な実績に限らず、当該分野において高い研究実績や国際ネットワークを有する等、研究開発代表者が本事業で支援を受けるに値する研究者であることを示す根拠があれば自由に示して下さい。  例）標準化への貢献、産学連携を通した社会実装、特許取得、重要な国際会議におけるチェア、海外著名大学での冠講義、等 |
| （６）過去10年間における国際人材交流実績 |
| ※研究開発代表者による過去10年間における国際人材交流の実績（若手研究者等の派遣や相手国側からの招聘、シンポジウムの開催等）及び交流による成果を記述してください。実績を記述する際には、人数や滞在期間、場所などの具体的な内容を含めてください。研究機関における当該相手国側研究機関との交流実績も含む。場合によっては、実績について所属機関に確認してください。 |
| （７）チームとしての研究・国際人材交流実績※「Aタイプ」で応募する場合のみ記述 |
| ※チームとして研究や国際人材交流における実績でアピールポイントがあれば自由に記述してください。 |

**（２）相手国側研究代表者：経歴・研究業績（英語）**

**Counterpart Principal Investigator: BIO and Research Achievements**

|  |
| --- |
| 〇Researcher information |
| URL：  ＊Please paste the link to the page of the Principal Investigator of the counterpart country in ORCID (If you do not have an ORCID ID, please paste the link to the researcher information page of other services such as Publons or Google Scholar). |
| Bio：  ＊Please provide biographical information (including information on education, research, academic affiliations, etc.). |
| 〇Research achievements |
| （１）Summary of research achievements  ＊Please briefly describe your achievements in research, including the points that appeal to us and what you have accomplished in the relevant field as a top researcher deserving of support under this project. |
| （２）First or corresponding author publications (within 10 pieces)  ＊Please provide the number of SCOPUS citations for each of the papers you have published as a responsible author and the number of times you have been cited in SCOPUS, which supports your outstanding research achievements. Please provide sufficient information to identify the research achievements (title of paper, author(s), name of journal, name of international conference, volume number, year of publication, bibliographic information, etc.).  For the three papers related to this proposal, please provide a brief description of what you have clarified in the published papers, your contributions, and other appealing points as necessary. |
| （３）Top 10% of international co-authored publications (maximum of 10)  ＊Please list international co-authored publications within Top 10%. Please provide sufficient information to identify the research achievement (title of publication, author(s), name of journal, name of international conference, volume number, and year of publication). Please clearly indicate the database used, how TOP 10% is defined, and evidence that identifies the paper as a Top 10% publication.  For the three publications related to this proposal, please provide a brief description of the research proposal, including the contributions of the research proposer and other appealing points that have been clarified in the published papers, if necessary. |
| （４）Keynote speeches at international conferences in the past 10 years (maximum of 10)  ＊Please describe keynote/keynote speeches at major international conferences in the past 10 years. Please provide sufficient information to identify the relevant research achievements (name of international conference, location, date, etc.).  For the three international conferences related to this proposal, please provide a brief description of the contributions and other appealing points of the proposer, if necessary. |
| （５）Other research achievements  ＊Please provide any evidence, not limited to academic achievements, that indicates that the researcher is worthy of receiving support under this project, such as a strong research record or international network in the relevant field.  (e.g.) Contributions to standardization, social implementation through industry-academia collaboration, patents obtained, chairs at important international conferences, endowed lectures at prominent overseas universities, etc. |
| （６）International human resource exchange achievements over the past 10 years |
| \*Describe the results of international personnel exchanges (dispatching young researchers, inviting researchers from other countries, holding symposiums, etc.) and the outcomes of such exchanges over the past 10 years. When describing achievements, please include specific details such as the number of people, duration of stay, location, etc. |

# ４．研究開発提案の概要（日本語・英語）

■研究開発提案の概要を日本語1000字以内、英語400ワード以内でご記載ください。

■本提案概要（日本語）をe-Radの研究概要へコピーしてください。

■記載内容を元に、（別紙１）グラフィカル・アブストラクトを作成してください。本提案で実施する内容について、（１）研究について、（２）国際頭脳循環等の促進について、をパワーポイント（自由記載）１枚以内で記載してください。評価委員に研究内容をビジュアル的に理解して頂く為の様式となります。

＜日本語＞

本研究は・・・を目的とする。具体的には、日本側チームは・・・を行い、相手側チームは・・・を行う。両国チームによる研究を通して・・・が期待される。また、次世代の研究者を育成するために・・・を実施する。

＜English＞

This collaborative research aims to... Specifically, the Japanese research team will... The XXX research team will ... Through collaborative and complementary research, this research is expected to...

# ５．研究開発提案の目的および実施内容（日本語）

■10.5ポイント以上の文字等を使用して、5ページめどで記載してください。

■「３ 研究業績」の記載内容を適切に引用し、申請者自身の業績と研究開発提案との関係を明確にしてください。

■研究開発提案の背景（研究の重要性・必要性）、申請者の実績（事実）、研究開発提案それぞれを明確に区別してください。

■必要に応じ図表を挿入するなどして、分かりやすく記載してください。

※この項目では、以下の観点から審査を行います。

○事業趣旨等との整合性（我が国の科学技術力の維持・向上に繋がるようなトップ水準の国際共同研究であるか/目標とする国際的なトップ研究コミュニティが明確に設定されており、事業趣旨に合致するものであるか/これまでの国際頭脳循環等を通した次世代研究者等の育成実績を踏まえて、適切な育成目標が設定されているか）

○科学的・技術的な意義および優位性（独創性、新規性を有しているか/社会的ニーズに対応するものであるか/医療分野の研究開発に関する国の方針に合致するものであるか/医療分野の研究開発の進展に資するものであるか/国際的に高い評価を得る研究成果の創出が期待できるか/研究提案内容が当該研究分野・領域において高い水準のものであり、相手国側研究チームと国際共同研究を実施することによる相乗効果が期待できるか）

○事業で定める項目（研究開発終了後もトップ水準の国際共同研究が継続し、我が国の科学技術力の維持・向上が期待できるか/研究開発終了後も国際的なネットワークとして継続・拡大することが期待できるか/研究開発終了後もトップ研究コミュニティにおいて人材育成の継続が期待できるか）

1. **研究開発提案の背景**

本研究開発提案の重要性・必要性が明らかとなるよう、科学技術上の要請、社会的要請及び、当該分野や関連分野の動向等を適宜含めて記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

1. **研究開発提案の目的・ねらい**

研究開発提案の目的やねらいを国際共同研究および国際頭脳循環の促進の両方について具体的に記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

1. **研究開発提案の実施内容**

研究開発提案の実施内容（国際共同研究および国際頭脳循環の促進に関する内容）をそれぞれ具体的に記載してください。また、相手国側研究者が相手国側資金配分機関より支援を受けている研究と本研究開発提案との関係についても説明してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

1. **研究開発提案の実施により期待される成果（達成目標）**

研究開発提案の実施により期待される成果（上記研究開発成果によって得られるアウトカム）を（①国際共同研究および②国際頭脳循環の促進について）それぞれ具体的に記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

1. **研究開発提案の実施に向けた準備状況**

本研究開発提案を推進する基盤となる、研究開発代表者自身（及び必要に応じて研究開発参加者）のこれまでの研究の経緯と成果、研究開発提案を支持する予備的な知見やデータについて具体的に記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

1. **研究開発提案内容の新規性・独創性・優位性**

関連分野の国内外の研究の現状や動向を踏まえて、この研究開発提案の世界の中での位置付け、独創性、新規性や優位性を記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

1. **研究開発提案の実施により得られる波及効果**

研究開発提案の実施により将来実現することが期待される、科学技術イノベーション創出、医療シーズ創出・社会貢献、知的財産の取得・活用等を、想定し得る範囲で記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

# ６．実施計画（研究開発）

■10.5ポイント以上の文字等を使用して、5ページめどで記載してください。

■研究計画を遂行するための研究体制について、「研究開発代表者」、「研究開発分担者」及び「研究協力者」等の具体的な役割を明確に記載してください。

■（１）研究開発全体の計画には、研究開発全体における各研究開発項目の位置づけや相互の関係性など、研究開発全体の進め方が分かるように記載してください。

■（２）年次計画には、各研究開発項目の担当者、役割、年度毎の実施内容、研究方法を具体的に記載してください。研究開発項目は必要に応じて追加してください。

■研究開発の主なスケジュールおよび実施体制図等は、それぞれ（別紙２）、（別紙３）として添付してください。

■計画は「（別紙２）研究開発の主なスケジュール」と整合するように記載してください。また、研究開発項目ごとに記載してください。

※この項目では、以下の観点から審査を行います。

○計画の妥当性（全体計画の目標と計画は明確であるか/年度ごとの計画は具体的なもので、かつ実現可能であるか/日本側研究チームと相手国側研究チームの役割分担は明確で研究期間を通して実現可能な計画となっているか）

○実施体制（日本側研究チーム構成は事業目的の達成や成果の創出を見据えた体制となっているか。研究交流を担う研究参加者が含まれているか。エフォートは適当であるか。多様性への考慮がなされているか。）

○事業で定める項目（研究交流および共同研究は両国において対等な計画となっており、また相互に裨益するものであるか。片方が他方の隷属的な関係となっていないか）

（１）研究開発全体の計画

（２）各研究開発項目の年度計画：

1. 分担研究開発課題名（実施内容）：

研究開発分担者　機関名　所属　役職：

研究開発分担者　氏名：

令和５年度：

令和６年度：

令和７年度：

令和８年度～令和10年度：

1. 分担研究開発課題名（実施内容）：

研究開発分担者　機関名　所属　役職：

研究開発分担者　氏名：

令和５年度：

令和６年度：

令和７年度：

令和８年度～令和10年度：

（例）（別紙２）　研究開発の主なスケジュール

（例）（別紙３）　実施体制について

# ７．実施計画（国際頭脳循環等の促進に向けた取り組み）

■本項目では、以下2点について10.5ポイント以上の文字等を使用して、５ページをめどで記載してください。

（１）国際ネットワーク構築・拡大のための計画

■本プログラムでは、国際的なトップ研究コミュニティの中に入り込み、安定的にそのネットワークを維持しつつ最新の研究開発活動に関与することを目的としています。国際的なトップ研究コミュニティの構築・参画・発展を目的として、本提案を通して国際的ネットワークを構築・拡大するための具体的な計画を記述してください。

■下記を必ず含めて記述してください。

○最終的にどのような国際的トップコミュニティへの参画を狙うのか、またはどのような国際的なトップコミュニティを作っていくのか、又は既に国際的なトップ研究コミュニティに参画している場合は、今後トップ研究コミュニティをどのように発展させていくことを目標とするのか記述してください。

○上記を踏まえて、本課題では課題終了時に具体的にどのようなネットワークが構築・拡大されている状態を目指すのか記述してください。

（２）国際頭脳循環等の促進に資する次世代研究者の人材育成計画

■国際頭脳循環を促進し国際的なトップ水準の研究機会を次世代研究者等へ提供するなど次世代のトップ研究者になることが期待される研究者を育成するための具体的な計画を記述してください。

■次世代研究者等の育成に関しては、下記を計画に盛り込むことを必須とします。

○次世代研究者等を海外に原則1年程度以上派遣すること

○相手国側から研究者等を招聘すること

また、上記に関する計画は、対象人数や期間、渡航先・招聘先などを含む渡航・招聘にかかる具体的な研究計画および交流計画、渡航先・招聘先での受入体制、期待される成果等を必ず記載してください。

■（別紙４）に国際頭脳循環等の促進に向けた計画のスケジュールを記載してください。

■下記を必ず含めて記述してください。

○本プログラムでは国際頭脳循環を促進し国際的なトップ水準の研究機会を若手研究者等へ提供するなど次世代のトップ研究者になることが期待される次世代研究者の育成を目的としています。本目的を踏まえ、今までどのような方針・方法で若手研究者等の育成を実施し、その結果どのような成果があったか具体的に記述してください。

○今までの若手研究者等の育成実績を踏まえ、本提案を通してどのような次世代の研究者等が育成されることを目指すのか目標を記述してください。

※この項目では、以下の観点から審査を行います。

○事業趣旨等との整合性（目標とする国際的なトップ研究コミュニティが明確に設定されており、事業趣旨に合致するものであるか/これまでの国際頭脳循環等を通した次世代研究者等の育成実績を踏まえて、適切な育成目標が設定されているか）

○計画の妥当性（国際ネットワーク構築・拡大に向けた計画は適切か/目標とする国際的なトップ研究コミュニティの構築・参画・発展を目的として、適切で具体的かつ実現可能な計画が立てられているか）

○実施体制（研究開発代表者および相手国研究開発代表者は国際トップサークルにおける研究実績、トップ研究コミュニティにおける交流実績、若手研究者等の人材育成実績を有しているか。）

○計画の妥当性（国際頭脳循環の促進に資する次世代のトップ研究者の育成戦略は適切であるか/規模に応じて適切な数の研究者が渡航あるいは招聘される計画となっているか/滞在先での役割や期間等が具体的であり、研究機関の受け入れおよび支援体制は整っているか）

○事業で定める項目（研究開発終了後も国際的なネットワークとして継続・拡大することが期待できるか/研究開発終了後もトップ研究コミュニティにおいて人材育成の継続が期待できるか）

（１）国際ネットワーク構築・拡大のための計画

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（２）国際頭脳循環等の促進に資する次世代研究者の人材育成計画

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

# ９．経費（日本側にかかる経費のみをご記入ください）

**各年度別経費内訳**

* ASPIRE-A、ASPIRE-Bいずれかに記入をし、一方を削除してください。

※この項目では、以下の観点から審査を行います。

○所要経費（経費の内訳、支出計画等は妥当であるか/公募趣旨に沿った研究活動を遂行する上で、十分な研究資源（研究資金、人的・物的資源等）を備えているか/直接経費総額の５割以上を国際ネットワークの構築・拡大や、次世代のトップ研究者の育成を目的として使用する予算計画が立てられているか/海外派遣研究者等の人材育成に十分な予算が確保されており、適切な予算計画がたてられているか/海外の優秀な人材を適切な待遇で受け入れる予算計画が含まれているか）

## 【ASPIRE-A】

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | | 中項目 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | 計 |
| 直  接  経  費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |  |  |  |
| 2.旅費 | 旅費 |  |  |  |  |  |  |  |
| 3.人件費  ・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |  |
| 小計 | |  |  |  |  |  |  |  |
| 間接経費  （上記経費の30%目安） | | |  |  |  |  |  |  |  |
| 合計 | | |  |  |  |  |  |  |  |

（単位：千円）

※記入用シートを追加して【代表機関】【分担機関】と明記してください。

* 研究期間は契約締結日から令和10年度末とします。令和5年2月1日が初年度の契約日の場合、令和11年3月31日までとなります。
* Aタイプの場合、経費は最大１年76,000千円相当として、総額の上限3.8億円となります（間接経費を含まない）。
* 直接経費の50％以上を国際頭脳循環のための交流活動費（旅費・人件費・活動費・イベント費等）として計上してください。
* 相手国側研究者の日本への招聘費用は国際頭脳循環のための経費として計上可能です。
* 相手国側研究者が日本の研究機関にて研究活動を実施する場合は、国際頭脳循環のための経費として計上可能です。
* 研究期間中に最低1回のワークショップ等イベント開催費を計上してください。
* 相手国側研究者の相手国における研究活動費は相手国側研究機関への負担を求めてください。
* 経費負担についてあらかじめ相手国側研究機関と事前に取り決めを交わすようお願いいたします。

**国際的ネットワーク構築・拡大や国際頭脳循環等の促進に資する次世代の研究者育成に係る費用**

※上記内訳の内、国際的ネットワークの構築・拡大や、国際頭脳循環等の促進に資する次世代の研究者等の育成を目的として使用予定の費用総額を記載してください（トップ研究者・次世代研究者間のコネクション強化を目的としたWS開催や渡航費、渡航後に発生する費用等が含まれます）。

※使用予定の直接経費総額の５割以上を国際的ネットワークの構築・拡大や、国際頭脳循環等の促進に資する次世代研究者等の育成を目的とした使用用途としてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **項目** | **金額（千円）** |
| 直接経費 | 旅費 |  |
| 人件費・謝金 |  |
| 物品費 |  |
| その他（ワークショップ費用等） |  |
| 小計 |  |
| 間接経費（直接経費の30%） | |  |
| 合計 | |  |
| 総額 | |  |

## 【ASPIRE-B】

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | | 中項目 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | 計 |
| 直  接  経  費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |  |  |  |
| 2.旅費 | 旅費 |  |  |  |  |  |  |  |
| 3.人件費  ・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |  |
| 小計 | |  |  |  |  |  |  |  |
| 間接経費  （上記経費の30%目安） | | |  |  |  |  |  |  |  |
| 合計 | | |  |  |  |  |  |  |  |

（単位：千円）

* 研究期間は契約締結日から令和10年度末とします。契約開始日が令和5年2月1日の場合、令和11年3月31日までとなります。
* Bタイプの場合の経費は最大１年23,000円相当として、総額は最大1.15億万円となります。（間接経費を含まない）。
* 直接経費の50％以上を国際頭脳循環のための交流活動費（旅費・人件費・活動費・イベント費等）として計上してください。
* 相手国側研究者が日本の研究機関にて研究活動を実施する場合は、国際頭脳循環のための経費として計上可能です。
* 相手国側研究者の日本への招聘費用は国内経費として計上可能です。
* 相手国側研究者の相手国における研究活動費は相手国側研究機関への負担を求めてください。
* 経費負担についてあらかじめ相手国側研究機関と事前に取り決めを交わすようお願いいたします。

**国際的ネットワーク構築・拡大や国際頭脳循環等の促進に資する次世代研究者育成に係る費用**

※上記内訳のうち、国際的ネットワークの構築・拡大や、国際頭脳循環等の促進に資する次世代研究者等の育成を目的として使用予定の費用総額を記載してください（トップ研究者・次世代研究者間のコネクション強化を目的としたWS開催や渡航費、渡航後に発生する費用等が含まれます）。

※使用予定の直接経費総額の５割以上を国際的ネットワークの構築・拡大や、国際頭脳循環等の促進に資する次世代研究者等の育成を目的とした使用用途としてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **項目** | **金額（千円）** |
| 直接経費 | 旅費 |  |
| 人件費・謝金 |  |
| 物品費 |  |
| その他（成果報告会費用等） |  |
| 小計 |  |
| 間接経費（直接経費の30%） | |  |
| 合計 | |  |
| 総額 | |  |

# １０．研究費の応募・受入等の状況・エフォート（日本語）

■本研究開発課題の研究開発代表者の応募時点における、（1）応募中の研究費(国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費等の研究資金を含む。以下同じ。)、（2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）、（3）その他の活動について、次の点に留意し記載してください。なお、複数の研究費を記載する場合は、線を引いて区別して記載してください。

■「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100％とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（％）を記載してください。

■「応募中の研究費」欄の先頭には、本研究開発課題を記載してください。

■必要に応じて行を挿入して構いません。

※この項目では、以下の観点から審査を行います。

○所要経費（公募趣旨に沿った研究活動を遂行する上で、十分な研究資源（研究資金、人的・物的資源等）を備えているか。）

○実施体制（主要な研究参加者のエフォートは適当であるか）

## （1）応募中の研究費（令和5年8月1日時点）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名  （研究開発代表者氏名） | 役割  （代表・分担の別) | 令和5年度の研究経費（直接経費）  [期間全体の額]  （千円） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 【本研究開発課題】  申請者本人への配分予定額（直接経費）  （R5～R7） | ○○と△△の相関に関  する実験的研究  （○○○○） | 代表 | 6,000  [18,000] | 20 | （総額　21,000千円）\*  研究開発課題全体（直接経費）の総額  例）（6,000＋1,000（分担者））×3年 |
| 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究（R5～R6・日本学術振興会） | ○○と△△の□□への依存性に関する調査研究（○○○○）  研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額（直接経費）（予定額） | 代表 | 3,000  [9,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。  （総額　9,000千円）\* |
| 令和5年度○○財団研究助成金（R5・○○財団） | 上欄と同様に研究開発代表者の場合、総額を記載  ●●と□□の研究  （○○○○） | 分担 | 1,000  [1,000] | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

## （2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）（令和5年8月1日時点）

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名  （研究開発代表者氏名） | 役割  （代表・分担の別) | 令和5年度の研究経費（直接経費）  [期間全体の額]  （千円） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 令和3年度○○財団研究助成金（R3・○○財団 | ●●と□□の研究  （○○○○） | 代表 | 1,000  [1,000] | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。  （総額　5,000千円）\* |
| ○○事業（R3～R5・AMED） | ●●と□□の研究  （○○○○） | 分担 | 1,000  [5,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

　\*　（　）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

## （3）その他の活動

エフォート：　50　％

（この吹き出しを記載するかは任意：事業判断）

（1）（2）以外の「その他の活動」のイメージ（考え方の整理）

教育　　　　　　　　　エフォート：　20　％

診療　　　　　　　　　エフォート：　10　％

社会サービス　　　　　エフォート：　 5　％

その他（学内事務等）　エフォート：　15　％

# １１．これまでに受けた研究費とその成果等（日本語）

■本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者がこれまでに受けた研究費（所属機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受け入れている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、（１）【AMED事業】と（２）【それ以外の研究費】に分けて、次の点に留意し記載してください。

■AMED事業とそれ以外の研究費は区別して記載してください。

■それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間（年度）、研究開発課題名、研究開発代表者又は研究開発分担者の別、研究経費（直接経費）を記載してください。また、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果も簡潔に記載してください。

※この項目では、以下の観点から審査を行います。

○実施体制（研究開発代表者および相手国研究開発代表者は国際トップサークルにおける研究実績、トップ研究コミュニティにおける交流実績、若手研究者等の人材育成実績を有しているか。）

（記載項目）

資金制度名：

期間（年度）：H 年度～H 年度

研究開発課題名：

研究開発代表者又は研究開発分担者の別：

研究開発経費（直接経費）： 千円

研究成果及び中間・事後評価結果：

## （1）【AMED事業】

・AMED　○○事業（A）、H27～H29、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

・AMED　○○事業（B）、H29～R1、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

## （2）【それ以外の研究費】

・基盤研究（B）、H26～H28、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

# （別紙１）　グラフィカル・アブストラクト

例

※パワーポイント等で作成したものを添付してください。なお、当様式は例示であり、これに沿う必要はありません。

【実施内容：（１）研究開発について（自由記載）】

**研究開発課題名**

**相手国側研究開発代表者名・役職・所属**

**日本側研究開発代表者名・役職・所属**

【実施内容：（２）国際頭脳循環等の促進について（自由記載）】

図・表など

図・表など

# （別紙２）　研究開発の主なスケジュール

■目標達成に向けて取り組むべき研究開発項目を挙げ、実施期間を記載してください。

■項目別のスケジュールや担当者がわかるように記載してください。

※ **１ページ以内で記載してください。**

（例）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究開発項目 | 担当者  氏名 | １年度目  （R5年度） | ２年度目  （R6年度） | ３年度目  （R7年度） | ４年度目  （R8年度） | ５年度  （R9年度） | ６年度  （R10年度） |
| （1） 〇〇関連遺伝子発現解析  ・アッセイ系の確立  ・発現データ解析 |  |  |  |  |  |  |  |
| （2） |  |  |  |  |  |  |  |
| （3） |  |  |  |  |  |  |  |
| （4） |  |  |  |  |  |  |  |
| （5） |  |  |  |  |  |  |  |
| （6） |  |  |  |  |  |  |  |

# （別紙３）　実施体制図

代表機関、分担機関の組織（所属機関と主たる研究場所が異なる場合については、主たる研究場所についても記載）および相手国側研究機関、体制、連携、協力体制等について体制図を記載してください。各機関の役割がわかるように記載してください。また、研究開発課題の運営・推進及び進捗管理等の体制や方法について記載してください。

【体制図記載例】

角丸四角形：大学等

楕円：企業

長方形：AMED

点線矢印：契約

二重矢印線：試料・情報等のやり取り、分担

（例）

研究開発代表者

所属（及び主たる研究場所）

氏名

分担する研究内容

「○○○○○○」

AMED

研究開発分担者

所属（及び主たる研究場所）氏名

分担する研究内容

「○○○○○○」

研究開発分担者

所属（及び主たる研究場所）氏名

分担する研究内容

「○○○○○○」

解析

データ提供

試料の提供

加工

# （別紙４）　国際頭脳循環等の促進に向けた計画

■委託研究期間中の国際頭脳循環等の促進に向けた計画および実施期間または時期を記載してください。

■対象者の渡航時期および招聘時期がわかるように記載してください。未定の場合は、「研究員A」「博士A」などと記入してください。

■人材交流、研究交流のためのワークショップの計画および実施時期を記載してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 内容 | 氏名・役職 | 1年度目 | 2年度目～3年度目 | | 4年度目～６年度目 | | |
| R５年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 |
| (1) 渡航計画 | 研究者A  博士A  ポスドクA |  |  | |  | | |
| (2) 招聘計画 | 博士B  ポスドクB |  |  | |  | | |
| (３) 交流イベント | 主催者、機関名 |  | 【開催地、年月】  【開催地、年月】 | | 【開催地、年月】 | | |

# （別紙５）

**機関長からの承諾書**

年　月　日

承　諾　書

国立研究開発法人日本医療研究開発機構　御中

　　 （研究開発代表機関）

　 機関名

　 機関長名 　　　 公印（省略可）

先端国際共同研究推進プログラムに提案しています、下記の研究開発提案について、採択された場合には、機関として国際共同研究の支援を行うことを確認します。具体的には、以下について機関として執行します。

記

○研究開発課題名　　　　　「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

○研究開発代表者名

・相手国側研究機関との国際共同研究の実施に関する合意文書の取り交しの支援

・相手国側研究機関との合意文書の内容の遵守及び事業契約の履行ならびに経費の執行管理

・共同研究体制を構築する場合の研究代表機関としての責務の遵守

・若手研究者育成の一環として大学院生や学部生の海外派遣に関する安全管理及び責任体制の構築

・相手国側研究者を研究機関にて受け入れる際の安全管理及び責任体制の構築

・その他、国際共同研究を実施するために必要な手続き等の支援

・研究実施期間中の研究代表者を中心とした研究体制の確保（下記内容にも必ずお答えください。）

|  |  |
| --- | --- |
| 研究実施期間中に研究開発代表者が  定年等を迎える予定である。 | （はい）とお答えになる場合、組織内で研究実施体制を確保するための方策を明記してください。 |
| （　はい　/　いいえ　） |

# （別紙６）

**安全保障貿易管理に係るチェックシート**

|  |  |
| --- | --- |
| **研究開発代表者名**： |  |
| **研究開発課題名**： |  |

公募要領の「2.2.3 安全保障貿易管理について（海外への技術漏洩への対処）」を参照し、下記１）～４）について確認・記載してください。**なお、本紙の内容は相手国側資金配分機関へ共有する可能性がありますが、研究開発提案の採否には一切影響しません。**

**１）「貨物等省令第２条の２　第１項」について**

* 提案書様式1（以下、提案書）に、「貨物等省令第２条の２　第１項」における以下の物品に関する研究が含まれているかを確認してください。
* その上で、各項目について「含む」もしくは「含まない」のいずれか該当する方の「□」を「■」に書き換えてください。
* 含む場合には、該当する物品名に下線を引き、提案書中の当該物品の設計、製造（※）に関する記載の有無について該当する方の「□」を「■」に書き換え、記載がある場合は、提案書中の項目番号を記入してください。

※設計とは： 一連の製造過程の前段階のすべての段階（設計研究、設計解析、設計概念、プロトタイプの製作及び試験、パイロット生産計画、設計データ、設計データを製品に変化させる過程、外観設計、総合設計、レイアウト等）

製造とは： すべての製造過程（建設、生産エンジニアリング、製品化、統合、組立/アセンブリ、検査、試験、品質保証等）

貨物等省令第２条の２　第１項※

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 物品名 | 左記物品に関する研究 | 提案書中の左記研究に関する設計、製造に関する記載 |
| 第一号 | ウイルス（ワクチンを除く。）であって、アフリカ馬疫ウイルス、アフリカ豚熱ウイルス、アンデアン・ポテト・ラテント・ウイルス、アンデスウイルス、エボラウイルス属の全てのウイルス、黄熱ウイルス、オムスク出血熱ウイルス、オロポーチウイルス、ガナリトウイルス、キャサヌール森林病ウイルス、牛疫ウイルス、クリミア・コンゴ出血熱ウイルス、口蹄疫ウイルス、高病原性鳥インフルエンザウイルス（Ｈ五又はＨ七のＨ抗原を有するものに限る。）、ＳＡＲＳコロナウイルス、再構成１９１８年インフルエンザウイルス、サビアウイルス、サル痘ウイルス、小反芻獣疫ウイルス、シンノンブレウイルス、水疱性口内炎ウイルス、西部ウマ脳炎ウイルス、セントルイス脳炎ウイルス、ソウルウイルス、ダニ媒介脳炎ウイルス（極東型に限る。）、チクングニアウイルス、チャパレウイルス、跳躍病ウイルス、テュクロウイルス、痘瘡ウイルス、東部ウマ脳炎ウイルス、ドブラバーベルグレドウイルス、ニパウイルス、日本脳炎ウイルス、ニューカッスル病ウイルス、ハンタンウイルス、豚熱ウイルス、豚水疱病ウイルス、豚テシオウイルス、豚ヘルペスウイルス―１、フニンウイルス、ブルータングウイルス、ベネズエラウマ脳炎ウイルス、ヘンドラウイルス、ポテト・スピンドル・チュバー・ウィロイド、ポワッサンウイルス、マチュポウイルス、マールブルグウイルス属の全てのウイルス、マレー渓谷脳炎ウイルス、ヤギ痘ウイルス、羊痘ウイルス、ラグナネグラウイルス、ラッサウイルス 、ランピースキン病ウイルス、リッサウイルス属のウイルス（狂犬病ウイルスを含む。）、リフトバレー熱ウイルス、リンパ球性脈絡髄膜炎ウイルス、ルヨウイルス又はロシオウイルス | **□含む**  （→該当する物品に下線を引き、右欄もチェックする）  **□含まない** | **□記載有**  （→記載のある項目の番号：　　　）  **□記載無** |
| 第二号 | 細菌（ワクチンを除く。）であって、アルゲンチネンス菌（ボツリヌス神経毒素産生株に限る。）、ウェルシュ菌（イプシロン毒素産生型のものに限る。）、ウシ流産菌、オウム病クラミジア、牛肺疫菌（小コロニー型）、コクシエラ属バーネッティイ、コレラ菌、志賀赤痢菌、炭疽菌、チフス菌、腸管出血性大腸菌（血清型Ｏ２６、Ｏ４５、Ｏ１０３、Ｏ１０４、Ｏ１１１、Ｏ１２１、Ｏ１４５及びＯ１５７）、発疹チフスリケッチア、バラチ菌（ボツリヌス神経毒素産生株に限る。）、鼻疽菌、ブタ流産菌、ブチリカム菌（ボツリヌス神経毒素産生株に限る。）、ペスト菌、ボツリヌス菌、マルタ熱菌、山羊伝染性胸膜肺炎菌Ｆ38株、野兎病菌又は類鼻疽菌 | **□含む**  （→該当する物品に下線を引き、右欄もチェックする）  **□含まない** | **□記載有**  （→記載のある項目の番号：　　　）  **□記載無** |
| 第三号、  第四号 | 毒素（免疫毒素を除く。）であって、アフラトキシン、アブリン、ウェルシュ菌毒素（アルファ、ベータ１、ベータ２、イプシロン又はイオタの毒素に限る。）、HT－２トキシン、黄色ブドウ球菌毒素（腸管毒素、アルファ毒素及び毒素性ショック症候群毒素）、 コノトキシン、コレラ毒素、志賀毒素、ジアセトキシスシルペノール、T－２トキシン、テトロドトキシ ン、ビスカミン、ボツリヌス毒素、ボルケンシン、ミクロシスチン又はモデシン、およびそのサブユニット | **□含む**  （→該当する物品に下線を引き、右欄もチェックする）  **□含まない** | **□記載有**  （→記載のある項目の番号：　　　）  **□記載無** |
| 第五号 | 細菌又は菌類であって、クラビバクター・ミシガネンシス亜種セペドニカス、コクシジオイデス・イミチス、コクシジオイデス・ポサダシ、コクリオボールス・ミヤベアヌス、コレトトリクム・カーハワイ、ザントモナス・アクソノポディス・パソバー・シトリ、ザントモナス・アルビリネアンス、ザントモナス・オリゼ・パソバー・オリゼ、シンキトリウム・エンドビオチクム、スクレロフトラ・ライシアエ・バラエティー・ゼアエ、セカフォラ・ソラニ、チレチア・インディカ、プクシニア・グラミニス種グラミニス・バラエティー・グラミニス、プクシニア・ストリイフォルミス、ペロノスクレロスポラ・フィリピネンシス、マグナポルテ・オリゼ、ミクロシクルス・ウレイ又はラルストニア・ソラナセアルム・レース３及び次亜種２ | **□含む**  （→該当する物品に下線を引き、右欄もチェックする）  **□含まない** | **□記載有**  （→記載のある項目の番号：　　　）  **□記載無** |
| 第六号 | 遺伝子を改変した生物（意図的な分子操作によって核酸の塩基配列を生成し、又は改変されたものを含む。）であって次のいずれかを有するもの又は遺伝要素（染色体、ゲノム、プラスミド、トランスポゾン、ベクター及び復元可能な核酸断片を含む不活性化された組織体を含む。）であって次のいずれかの塩基配列を有するもの  イ　第一号に該当する遺伝子  ロ　 第二号又は前号に該当する遺伝子のうち、人、動物若しくは植物の健康に重大な危害を与えるもの（転写又は翻訳した生産物を通じて危害を与えるものを含む。）又は病原性を付与若しくは増強することができるもの（血清型Ｏ二六、Ｏ四五、Ｏ一〇三、Ｏ一〇四、Ｏ 一一一、Ｏ一二一、Ｏ一四五、Ｏ一五七その他の志賀毒素を産生する血清型をもつ大腸菌の核酸の塩基配列（志賀毒素又はそのサブユニットの遺伝要素を持つものに限る。）を有するもの以外のものを除く。）  ハ　第三号又は第四号に該当するもの | **□含む**  （→該当する物品に下線を引き、右欄もチェックする）  **□含まない** | **□記載有**  （→記載のある項目の番号：　　　）  **□記載無** |

※物品の詳細等については、経済産業省HPの安全保障貿易管理（https://www.meti.go.jp/policy/anpo/）を参照すること。

**２）「貨物等省令第２条の２　第２項」について**

* 提案書に、「貨物等省令第２条の２　第２項」における以下の物品に関する研究が含まれているかを確認してください。
* その上で、各項目について「含む」もしくは「含まない」のいずれか該当する方の「□」を「■」に書き換えてください。
* 含む場合には、提案書中の当該物品の設計、製造、使用（※）に関する記載の有無について該当する方の「□」を「■」に書き換え、記載がある場合は、提案書中の項目番号を記入してください。

※設計とは： 一連の製造過程の前段階のすべての段階（設計研究、設計解析、設計概念、プロトタイプの製作及び試験、パイロット生産計画、設計データ、設計データを製品に変化させる過程、外観設計、総合設計、レイアウト等）

製造とは： すべての製造過程（建設、生産エンジニアリング、製品化、統合、組立/アセンブリ、検査、試験、品質保証等）

使用とは： 設計、製造以外の段階（操作、据付、保守（点検）、修理、オーバーホール、分解修理等）

貨物等省令第２条の２　第２項（抜粋）※

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 物品名 | 左記物品に関する研究 | 提案書中の左記研究に関する設計、製造、使用に関する記載 |
| 第二号 | 発酵槽又はその部分品であって、次のいずれかに該当するもの  イ　使い捨て式以外の発酵槽又はその部分品であって、次のいずれかに該当するもの  　（一）　内容積が２０リットル以上の密閉式の発酵槽であって、定置した状態で内部の滅菌又は殺菌ができるもの  　（二）　（一）に該当する発酵槽に用いるように設計された培養容器であって、定置した状態で内部の滅菌又は殺菌ができるもの  　（三）　（一）に該当する発酵槽に用いるように設計された制御装置であって、発酵装置を制御するための２以上のパラメーターを同時に監視及び制御をすることができるもの  ロ　使い捨て式の発酵槽又はその部分品であって、次のいずれかに該当するもの  　（一）　内容積が２０リットル以上の密閉式の発酵槽  　（二）　（一）に該当する発酵槽に用いるように設計された使い捨て培養容器の収容装置  　（三）　（一）に該当する発酵槽に用いるように設計された制御装置であって、発酵装置を制御するための２以上のパラメーターを同時に監視及び制御をすることができるもの | **□含む**  （→右欄もチェックする）  **□含まない** | **□記載有**  （→記載のある項目の番号：　　　）  **□記載無** |
| 第七号 | 粒子状物質の吸入の試験に用いるように設計された装置であって、次のいずれかに該当するもの  イ　動物の全身を暴露することができる吸入室を有するものであって、吸入室の容積が１立方メートル以上のもの  ロ　１２以上のげっ歯類の動物又は２以上のげっ歯類以外の動物の鼻部を直接エアゾールを流動させて暴露することができるものであって、これに用いるように設計した動物を保定する密閉型のホルダーを有するもの | **□含む**  （→右欄もチェックする）  **□含まない** | **□記載有**  （→記載のある項目の番号：　　　）  **□記載無** |
| 第九号 | 核酸の合成又は核酸と核酸との結合を行うための装置であって、一部又は全部が自動化されたもののうち、一回の稼働で、連続した長さが一・五キロベースを超える核酸を五パーセント未満のエラー率で生成するように設計したもの | **□含む**  （→右欄もチェックする）  **□含まない** | **□記載有**  （→記載のある項目の番号：　　　）  **□記載無** |

※物品の詳細等については、経済産業省HPの安全保障貿易管理（https://www.meti.go.jp/policy/anpo/）を参照すること。

**３）「輸出令第１項（１４）」について**

* 提案書に、「輸出令第１項（１４）」における以下の物品に関する研究が含まれているかを確認してください。
* その上で、各項目について「含む」もしくは「含まない」のいずれか該当する方の「□」を「■」に書き換えてください。
* 含む場合には、提案書中の当該物品の設計、製造、使用（※）に関する記載の有無について該当する方の「□」を「■」に書き換え、記載がある場合は、提案書中の項目番号を記入してください。

※設計とは： 一連の製造過程の前段階のすべての段階（設計研究、設計解析、設計概念、プロトタイプの製作及び試験、パイロット生産計画、設計データ、設計データを製品に変化させる過程、外観設計、総合設計、レイアウト等）

製造とは： すべての製造過程（建設、生産エンジニアリング、製品化、統合、組立/アセンブリ、検査、試験、品質保証等）

使用とは： 設計、製造以外の段階（操作、据付、保守（点検）、修理、オーバーホール、分解修理等）

輸出令第１項（１４）※

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 物品名 | 左記物品に関する研究 | 提案書中の左記研究に関する設計、製造、使用に関する記載 |
| － | 軍用の化学製剤の探知若しくは識別のための生体高分子若しくはその製造に用いる細胞株又は軍用の化学製剤の浄化若しくは分解のための生体触媒若しくはその製造に必要な遺伝情報を含んでいるベクター、ウイルス若しくは細胞株  生体高分子：以下のいずれかに該当するものをいう。  イ　酵素  ロ　モノクロナール抗体、ポリクロナール抗体、抗イディオタイプ抗体  ハ　レセプター  生体触媒：生体化合物のうち特定の物質に結合し、分解を促進するものであって､人為的な選択又は遺伝子操作を経て生産されたものをいう｡  ベクター：遺伝物質を親細胞に組み込む媒介体をいう。 | **□含む**  （→右欄もチェックする）  **□含まない** | **□記載有**  （→記載のある項目の番号：　　　）  **□記載無** |

※物品の詳細等については、経済産業省HPの安全保障貿易管理（https://www.meti.go.jp/policy/anpo/）を参照すること。

**４）その他の技術について**

* 提案書に、外国為替令別表（前述の１）～３）で確認した項目と、第１６項を除く。）に該当するような技術（※）に関する記載があるかを確認し、該当する方の「□」を「■」に書き換えてください。
* 記載がある場合には、その該当箇所、該当していると考えられる理由、技術の内容等、該当する外国為替令別表の項番・項目、該当する貨物等省令の項番・項目を記載してください。

※外国為替令別表の詳細（貨物・技術のマトリクス表を参照）については、経済産業省HPから確認してください。（<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/matrix_intro.html>）

※技術とは：貨物の設計、製造又は使用に必要な特定の情報を指す。

設計とは： 一連の製造過程の前段階のすべての段階（設計研究、設計解析、設計概念、プロトタイプの製作及び試験、パイロット生産計画、設計データ、設計データを製品に変化させる過程、外観設計、総合設計、レイアウト等）

製造とは： すべての製造過程（建設、生産エンジニアリング、製品化、統合、組立/アセンブリ、検査、試験、品質保証等）

使用とは： 設計、製造以外の段階（操作、据付、保守（点検）、修理、オーバーホール、分解修理等）

提案書類について：

|  |  |
| --- | --- |
| **研究開発提案書中に、外国為替令別表**（前述の１）～３）で確認した項目と、第16項を除く。）**に該当するような技術に関する記載があるか。** | **□ある　　□ない** |

技術に関する記載がある場合、下記も記入：

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 提案書中の該当箇所 | 該当していると考えられる理由、技術の内容等 | 外国為替令別表の該当部分 | | 貨物等省令の該当部分 | |
| 項番 | 項目 | 項番 | 項目 |
|  |  |  |  |  |  |